

## 答辞

春の温かい日差しに包まれ、高松の森が青々とした輝きを増す季節となりました。

新型コロナウイルスの流行により、世間が騒然としているさなか、本日は私たち卒業生のために、このような素晴らしい卒業式を挙行していただき、本当にありがとうございます。

卒業式までの日数を数えながら、仲間や先生方との残された貴重な日々<sup>ご</sup>の過<sup>ご</sup>し方について、楽しく思いを巡らせていた中、感染拡大の防止策としての休校により、私たちの残り僅かな中学生活に、突然ピリオドが打たれてしまいました。

新生活が始まる事への楽しみな気持ちと、不完全燃焼のまま幕が閉じられようとしていたことへの無念な気持ちが入り混じり、不安に思いながら過<sup>ご</sup>す毎日でしたが、こうして無事に卒業式が行われ、一人ひとり卒業証書を受け取れたことで気持ちの整理がつき、安心して新しい道に踏み出せる気がします。

私たちが今日受け取った卒業証書には、ここ高松中での三年間の思い出が刻まれています。

三年前、高鳴る気持ちをおさえつつ、初めて高松中学校の門をくぐったとき、小学校の雰囲気との違いに少し圧倒されましたが、先輩方が大変親切にしてください<sup>た</sup>ため、すぐになじむことができました。

入学して初めて迎えた二大行事の一つである運動会は、それまで経験したものは比べ物にならないほどの迫力で、優勝を目指して真剣に取り組む先輩方の気迫に衝撃を受けました。

二年生になると、高松中での生活にもすっかり慣れ、緊張感が薄れてしまっていました。振り返ると、入学したころの新鮮な気持ちを忘れ、目標を見失いかけ、生活が惰性に流されがちになっていたと反省する部分もあります。そのため行事では失敗も多々あり、先生方には色々<sup>ご</sup>迷惑をおかけしました。

そんな私たちも少しずつ成長し、ついに最高学年として、学校を引っ張る立場となりました。先輩という手本がなくなり、不安を感じるとともに、後輩の見本になる振る舞いをしなければならいという自覚や責任感が芽生えてきました。

最高学年として迎えた運動会では、後輩たちを引っ張ろうと意気込んではいいたものの、計画通りに行かず戸惑うことや、的確なアドバイスができず悩むこともあり、不甲斐なく感じる事ばかりでしたが、それでも、そんな私たち三年生を信頼<sup>し</sup>ついできてくれた一、二年生には、助けられたことも多く、私たちが後輩から学ぶ<sup>び</sup>こともありました。

高松の行事は、三年生が中心となり、上下関係を越えた団結力で三学年が一体となって作り上げます。全学年の皆で力を合わせ真剣に戦った最後の運動会を思い起こすと、今でも胸が熱くなります。

二学期には三年間で一番の声を響かせた合唱コンクールがありました。どのクラスも金賞を勝ち取るという目標を掲げ、聴く人の心を動かし、印象に残るような歌声を届けられるよう練習を重ねました。三年間の集大成ともいえる最後の合唱コンクールで、私たちはその思いを歌声

とともに響かせることができました。また、コンクールの最後には恒例の先生方の合唱や吹奏楽部の演奏が加わって一層盛り上がり、高松らしい楽しくにぎやかな、思い出深いものとなりました。

今年度、高松中学校は創立七十周年という記念すべき年を迎え、そのお祝いの式典が開催されました。その記念式典では、あらためて高松中の歴史の長さ、私たちが担っている伝統の重みを感じ、高松中の生徒であるという誇りを胸に、七十周年にふさわしい合唱を心を込めて届けました。

二学期も後半になると、進路に向けて本格的に動き出す時期となりました。迷いや不安に煽られ、親に当たってしまうことも多くありました。申し訳ないと思いつつ、自分を律することができない不甲斐なさも感じていましたが、それでもそんな私たちをサポートしてくれた家族には感謝しきれません。

家族だけでなく、私たちの日ごろの学校生活を支えてくださった用務の方々、毎日のおいしい給食を作ってくださいった栄養士の先生や調理師の皆さん、図書室の先生やスクールカウンセラーの先生など、私たちの生活は多くの方々に支えられてきました。

三年生の先生方がよくおっしゃっていた「受験は団体戦だ」という言葉のように、校長先生、副校長先生をはじめとする先生方が、日々の勉強の環境や心休まる環境を作ってくださいることで、私たちは安心して自分のやるべきことに打ち込んで、進路に向きあうことが出来ました。私たちに寄り添い、温かく、時には厳しく指導してくださいった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

一、二年生の皆さん。頼りない私たち三年生についてきてくれて、ありがとうございます。至らないことも多々ありましたが、私たちを支えてくれたことに感謝しています。今後、二年生は最高学年として、一年生はそのサポート役として、支え合って高松中の伝統を受け継いでいってください。

これまで、私たちを育ててくれたお父さん、お母さん。迷惑や心配も沢山かけてきましたが、いつも温かく大きく見守り、支えてくれて、ありがとうございました。三年前の入学式のころに比べたら、心も体も成長した私たちの姿は、お父さん、お母さんにはどう映っていますか。この先もまだ沢山、迷惑や心配をかけてしまうかもしれませんが、その時は、厳しく叱って、そして温かく見守ってください。

三年間の中学校生活を共に過ごした仲間たち。困ったときに声をかけあい、助けあったこと、休み時間に一緒に騒ぎ、怒られたこと、一丸となって同じゴールに向かって走り抜けたこと、すべて良い思い出となりました。これからはそれぞれの新しい道へと進み、離れ離れになりますが、高松中で共有した貴重な日々を忘れずに、その思い出を大切にしていきたいと思えます。

最後になりましたが、このような大変な状況の中、この場にいる皆様のおかげで、心に残る卒業式となりました。私たちの母校、高松中学校の伝統が今後とも受け継がれていき、発展していくことを願い、答辞とさせていただきます。